



今、アダモス会員の手続きをすれば 新規サービス事業を無料で受けられます。

このチラシは、まだアダモス会員に未登録の方へのご案内です・

H300401 改訂

この機会にぜひ会員登録をしてください。

- アダモスでは、既に会員の方には、入会金無料、会費無料でトレーサビリティ他の費用も徴収しておりません。これは今後も同様です。さらにアダモスの発展のために新規事業を追加し、これらは、今後、一部のサービスは、有料会員に利用していただくこととしました。当分の間は、新規に会員登録をいただく方も無料で、以下のサービスを無料で、受けることが可能です。
- 医療機関で発生する機密文書の処理についても、気軽にご相談ください。これは機密文書処理専門会社との提携でトレーサビリティ利用（希望）により、厳重チェックの元に、機密文書は、大手の工場で溶融され、処分証明書が発行されます。
- この溶融したパルプは、再生紙になり、利用者が増え、機密文書量が増大すれば会費相当分を賄い、将来は、リサイクル料を還元し、ポイントとして医療機関に付与できればと計画しております。ぜひこれらをご賢察の上、アダモスへの入会をお薦めします。
アダモスの参加の処理業者は、すべてが東京都第三者評価制度により認定された優良業者、環境省優良認定処理業者等です。
これらの処理業者が、さらにアダモスのみか実現している、不適正処理を許さないトレーサビリティによる感染性廃棄物等の適正処理システムを実施しており、電子マニフェストにも直結した安全で確実な廃棄物適正処理を実行しております。
アダモスに登録していただければ、入会金無料・会費無料で、これらのシステムが無料で利用できます。この機会にアダモスのトレーサビリティや新規事業をご検討いただき、ご参加をお待ちしております。

◆ 現在受けているサービス

- **公的優良認定処理業者による廃棄物適正処理**
東京都第三者評価優良認定処理業者、環境省優良認定処理業者等が処理に当たっています。
- **トレーサビリティシステムによる容器1つずつの確認システム**
QRコードを用いて、収集運搬から、中間処理の終了までを確実に追跡確認しています。
- **電子マニフェストに自動的に連動 事務作業量の負担軽減**
トレーサビリティの読込で自動的に電マ入力がされます。マニフェストデータも管理しています。
- **廃棄物事故他のお見舞金制度**
アダモスで、処理業者の針刺し事故、廃棄物による患者への損傷など不測の事態に対応します。



アダモス会員向け新規サービス事業

アダモスをご存じない方は、アダモス会員の優良処理業者から説明を受けてください。費用負担無しで、下記の各種新規サービスを受けることが可能です。

入会申込書（HP内）に、メールアドレスをご記入の上、登録をしてください。

◆ 新規にアダモスが提供予定のサービス

1. 帳簿の作成と保存

廃棄物処理法を正しく解釈した帳簿作成と煩雑な保存も代行します。

⇒ 帳簿管理クラウドサービス

2. 機密文書処理

機密文書の処分を無料で引き受け、QRコードによるトレーサビリティシステムにより管理（希望）の上溶融し、処分証明書を発行します。お気軽にご相談ください。将来、機密文書量が大きくなれば、一定量以上には、当方からポイントを差し上げます。会費、廃棄物処理費用などに充当できます。

3. 少人数セミナー開催・相談会および感染性廃棄物管理実務者検定セミナー（仮称・案）

大人数ではなく、少人数で開催しますから、分かるまで質問できます。実務の相談も可能です。アダモスの参加型セミナーともいえます。感染性廃棄物管理実務者検定セミナー（仮称）も準備中で、セミナー受講後、検定を受けます。テキストなど作成中です。

4. WDSの作成補助・代行

廃棄物処理法に基づく感染性廃棄物に関する情報を予め処理業者に文書で出さなければなりません。未提出の医療機関には、お手伝いをし、作成代行もします。

5. 段ボール・その他の資料・缶類などのリサイクル

機密文書以外の証明書不要の紙資料、あるいは、缶類のリサイクルを無料で回収します。量が多ければ代金をお支払します。会費、廃棄物処理費用に充当できます。

6. 廃棄物管理資料の作成

廃棄物管理上に必要な資料を作成、保管します。緊急時にも即役に立ちます。排出事業者責任遂行のポイントの研修など、益々強化が予想されます。実際のポイントをHPに連載、セミナー等で少しずつ身につけて頂きます。

7. 廃棄物処理法改正・感染性廃棄物処理マニュアル改訂への迅速な対応・解説

マニュアル改訂等の廃棄物関連情報の迅速な提供。法改正、マニュアル改訂時には、その解説と共に改正内容を事前にお知らせします。（今回の法改正について、アダモスニュース2018No.1 参照）

8. 契約書及び添付の許可証等の保存義務サポート

添付資料の作成・許可書更新後の手続き代行/保存補助

⇒ アダモス契約書・許可証クラウドサービス

9. 電子カルテ導入時の紙カルテから電子カルテデータへの入力作業など

福祉障害者の全国ネットワークによる、機密データの入力が可能です。

⇒ 機密性を保つため、マスキング方式による入力を行います。これは1人のデータをマスクを掛けて、複数人で入力するために、個人データの秘密が保たれます。例えば、名前と住所、その他のデータは別々に入力され、医療機関にお渡しする際まで、ばらばらの状態になっております。

機密個人データの入力から、機密文書の処理まで、通して個人情報他の機密性をQRコードの利用により、可能にしました。

◆ 新規サービスは、順次開始の予定で準備を進めます。詳しくは、アダモス、または、会員処理会社にお問い合わせください。



アダモス会員向け新規サービス事業

アダモスにまだ入会していない医療機関は、アダモス、または会員処理会社から下記のサービスについて詳しい説明を受けてください。
会費無料で、下記のサービスを受けられます。ぜひこの機会に入会をお薦めします。

◆ 新規のアダモスの提供を予定しているサービス 医療経営に関するもの

経営管理資料の作成

廃棄物関連資料にとどまらず、医療経営全般に関わる管理資料を作成します。

事業継承相談・実施

医療機関経営上の大きな悩みを専門の女性弁護士が相談に応じます。

医療経営管理コンサルティング（今後の予定）

ベテランの公認会計士がコンサルします。

節税等への対応（今後の予定）

医療経営の上での、重要な対策である節税に対してのアドバイスをいたします。

解説 トレーサビリティによるトータル適正処理管理 アダモスの最も推奨すべきメリット トレーサビリティシステムによる感染性廃棄物容器の個別追跡管理

電子マニフェストでは、できない個別の容器管理システムです。ーダイコー事件は、起きません。

トレーサビリティシステムによる個別の容器ごとの管理で処理を確実に確認しています。
ダイコー事件でお分かりの通り、電子マニフェストを用いても、不適正処理は起きました。
アダモストレサビリティシステムは、電子マニフェストでできない容器ごとの管理により、
確実な適正処理を可能にします。

- ① アダモスのトレーサビリティのシステムの大きな特長の1つは、QRコード等の読取りで、電子マニフェストシステムへ直接リアルタイム入力（通常では3日以内と規定されており、廃棄物容器本体とマニフェスト情報にズレが出ており、正確な管理とはいえない。）が可能です。
- ② 現在のマニフェストシステムの大きな欠点は、電子マニフェストであっても個々の容器への対応はできず、マニフェスト1件で、複数個を管理しています。このため運搬途中や中間処理施設での保管中、焼却の際など容器の脱落等が起きても分からず、焼却したか不明で、紛失があっても分かりません。
- ③ アダモスのトレーサビリティのシステムは、最初から最期まで個々の容器、1つずつを各社が扱っています。そして各社の管理をアダモスに集めて中央監視・管理をしております。
何よりの特長は、このアダモスによる中央監視・管理システムです。
これらのデータの有効活用により、先の①②が可能となります。
不法投棄どころか、処理途中のミスなどによる容器の脱落、所在不明などは直ちに発見可能です。
前述のダイコー事件は、そもそも電子マニフェストシステムでは、個数の管理までできません。その欠点をついた事件ともいえます。実際に他の場所に廃棄物が移動されても、追従できませんでした。
アダモスのトレーサビリティシステムならば、1つの容器でも、焼却など中間処理が行われなければ、処理会社の他に、アダモスが中央監視をしておりますので、直ちに誤りが指摘されます。
ダイコー事件などは起こりようもありません。これらの費用は、現在処理会社が全て負担しております。
現在我が国、世界でも唯一のトレーサビリティ利用の感染性廃棄物適正処理システムといえます。

追加解説 マニフェストシステム

上記と連動し、QRコード等を読取ると同時に、自動的に電子マニフェストに入力されます。
煩雑な手間もいらず、間違いができません。電子マニフェストによる事務軽減、年次報告書提出無用などのメリットを受けることができます。

なお、今回の廃棄物処理法改正により、多量排出事業者（感染性廃棄物 年50トン以上）は、3年以内に電子マニフェストの義務化が決められています。ぜひアダモスの自動入力利用をお薦めします。